

2026年税理士試験受験対策

実力判定公開模擬試験

簿記論

回数	出題内容
第1回	本支店会計(在外支店)、商品売買(記帳方法、払出単価)、組織再編会計(企業結合、事業分離) 連結会計、特殊商品売買(割賦販売、委託販売)、減損会計(共用資産) 決算修正:商品売買(売価還元法)、為替予約、有価証券、 固定資産(資本の支出、資産除去債務、セール・アンド・リースバック)、 退職給付引当金(簡便法)、社債(買入償還)、貸倒引当金(キャッシュ・フロー見積法) 等
第2回	試用販売、リース会計、為替予約(独立処理、振当処理) キャッシュ・フロー計算書(直接法、間接法、定期預金 等)、ストック・オプション 決算修正:小口現金、商品売買、有価証券(外貨建有価証券)、転換社債型新株予約権付社債、 固定資産(圧縮記帳、会計上の変更等、リース会計)、退職給付引当金(原則法) 等
第3回	簿記一巡(帳簿組織)、建設業会計、社債、有価証券 資産除去債務、純資産会計(株主資本等変動計算書)、収益認識、減損会計、圧縮記帳、 有価証券(新株予約権の取得者側、保有目的区分の変更) 製造業会計、決算修正:当座借越、債権債務(振込手数料)、為替予約、有価証券、 固定資産(減損会計(グルーピング)、建物付土地)、 退職給付引当金(原則法) 等
第4回	リース会計(貸手側)、商品売買(記帳方法)、市場販売目的のソフトウェア 本支店会計(合併精算表)、退職給付引当金(原則法) 決算修正:収益認識、有価証券(保有目的区分の変更)、自社利用目的のソフトウェア、 固定資産(改定償却率、資産除去債務)、退職給付引当金(原則法) 等